

神経法学の“これまで”と“これから”



Speaker

小久保 智淳

Masatoshi Kokubo

神経法学者

東京大学大学院情報学環 助教

今回のCHAINセミナーでは、東京大学の小久保先生にご講演いただきます。小久保先生は国内では数少ない神経法学（Neurolaw）の専門家であり、神経科学の知見と法制度との関係について研究を行っておられます。とりわけ、神経科学技術が私たちの責任能力や意思決定、法的判断に及ぼす影響、およびそれに伴って生じうる法的課題について、学際的な研究を進めていらっしゃいます。

今回の講演では、神経法学の観点から、先端技術研究開発のELSIに関する重要な論点や押さえるべき要素について、詳しくお話しいたします。

講演日時

2026年 3月11日（水）17:00-18:30【開場 16:45】

17:00以降に入場する場合、玄関にてCHAIN共同研究室のインターホン324を押してください

言語

日本語

講演場所

【現地のみ】北海道大学 中央キャンパス総合研究棟2号館3階
CHAIN講義室

主催：内閣府ムーンショット目標9「逆境の中でも前向きに生きられる社会の実現」

（代表・山田 真希子）

同・研究開発課題「前向きな意義と倫理」（代表・田口 茂）

人間知・脳・AI研究教育センター(CHAIN) <https://www.chain.hokudai.ac.jp>

問い合わせ先： office@chain.hokudai.ac.jp

